

四季折々

の 北 上 川

三 年

山 田

聖 華

み な ん に は、 お 気 に 入 り の 景 色、 ヤ 場 所 は
あ り ま す か。 私 は、 北 上 川 に 掛 か る 明 治 橋 向 か
う の 風 景 が お 気 に 入 り て す。 そ こ で、 北 上 川 に
を 通 し て 盛 国 の 魔 力 を 世 界 に 発 信 し た い こ 思 い
ま す。

春 は、 川 沿 い の 桜 並 木 が 満 開 に 喜 き 誇 り ま
す。 お 花 觀 に 訪 れ る 人 は も ち ろん て す か、 散
歩 コ ー ス に ま で い る た め、 ウ オ ー キ ン グ

ヤ マ ラ ン ニ を し が か ら、 ヒ ラ ヒ ラ と 舞 い 降 り
て く る 桜 を 溜 し も こ こ が て き ま す。
夏 に は 舟、 こ 流 し が あ り ま す。 舟、 こ 流 し
は、 昔、 遊 女 の 乗 つ た 舟 が 北 上 川 の 薬 覆 し、
そ の 後、 死 く な つ た 遊 女 の 電 を 尾 心 や る た や
舟 に 位 牌 と 供 物 を 乗 せ、 火 を 付 け て 流 す 行 事
で す。 こ の 行 事 は、 地 域 の 大 人 か ら 子 供 ま で、
毎 日 で 準 備 を し ま す。 子 供 違 は、 カ ラ フ ル な 短
冊 に 「 南 無 阿 弥 陀 仏 」 と 筆 で 書 き、 大 人 が 作
た 舟 に 飾 り、 全 員 で 力 を 合 わ せ て 北 上 川 に

寧波には舟は各町内によつて様々な色、
形、仕掛けがあり、川に流す前の舟を見るの
もおもしろみの一つです。夕方になり、大人
が川に入つて舟に火を付け、真赤に染まる
舟を眺めて見送ります。他にも、子供達による
授げ松明、そしてファーナイトの花火大会とい
ふた、夏を堪能できる行事です。これは、他の
には無い獨特な地域文化だと私は思いました。
続いで、秋は岩手山に積もる初雪を眺め
ることで冬の訪れを感じ、盛岡の厳しい寒さ

がいいよいやはります。
そして、冬になると多くの白鳥が飛来し、
真白い雪景色の中、優雅に羽はたく、白
鳥の可憐な姿を見ることができるます。
ここにより、北上川では季節の流れを感じ
ることができます。
また、毎日橋の上から、雲にやさしく包ま
れる岩手山や、空の一束から光が差し込む様
子といふた、日々の黒なる景色を鑑賞するこ
とができます。

この北上川には、私が大切にしますが、やはり美しい自然の美しさと人々のまなざしを世界に誇れるものだと思います。

そこで私は、北上川の魅力を世界に伝えたいと思いません。具体的には、川下り体験や、やかた船を運航して多くの外国人観光客に北上川を楽しんでもらいたいです。また、盛岡の観光ツアーやして、夏は舟っこ流し、冬は白鳥の鑑賞を取り入れることを提案します。

今後は、北上川のすばらしさを知る一員として環境を維持するため、川や川辺を汚さない、ゴミを見つけたら拾つ活動をして活躍していきます。さらには、私もがいどとして活動をした経験を世界の絶景の中に、この北上川が入る日が来るところを楽しみにしています。

思ひます。また、今以上に北上川の魅力を見つけたときもがいどとして活躍していきます。今以上に北上川の魅力を見つけたときもがいどとして活躍していきます。

ここで、この北上川が入る日が来るところを楽しみにしています。